

資料2 八幡野地区の津波対策（対応策の抽出（具体化）と優先順位づけ）

第4回地区協議会資料  
（平成29年3月12日）

課題		担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	堤防整備 （防潮堤）	・八幡野地区でレベル1津波を防ぐためには、 T.P. +6.5mの防潮堤が必要  （ただし、レベル1津波による、住居地区への 浸水はないことが想定されている。）	伊東市		・無堤区間の防潮堤整備(H-1)		・レベル1津波による住居地区への浸水 は無いことが想定されていることか ら、護岸整備（かさ上げ）は実施し ないこととし、耐久性診断の必要性 も低いと思われます。 ・防潮堤の無堤区間の整備については 八幡野区と協議しながら検討してい きます。
	避難路 （がけ崩れ）	・地震により崩れて通行不能の可能性 ・土砂災害特別警戒区域	県	・急傾斜地崩壊対策事業実施中 （八幡野向町） ・土砂災害（特別）警戒区域指定済み			
ソフト対策	避難路	・避難路の整備	伊東市	・避難路の整備(階段整備)(S-1-1) ・避難路の整備(手摺り設置)(S-1-3) ・避難路の整備(階段老朽化対策) (S-1-4)			・避難路が市が管理する道路になっ ている箇所については、地元と優先順 位を協議しながら整備していきま す。 ・避難路が民地になっている箇所 については、市では整備できませんが 材料（手すりのパイプ等）を支給す ることは可能です。
		・避難路の整備(石積みの補強) (S-1-2)					・民地の石積みは市で整備できませ ん。（所有者に依頼）
	避難路 （表示）	・避難路の表示 ・観光客の避難誘導	伊東市	・津波避難方向の路面表示等の充実 (S-2)			
	避難路 （照明）	・街灯（LED）の設置（夜はとても暗くて危険） ・ソーラー式の照明設置	伊東市	・街灯の新設及びLED化に対する補助 (S-3)			・町内会での設置となります。 ・ソーラー式街灯は協議が必要とな ります。
	情報連絡 （事前準備）	・避難計画	伊東市	・津波避難計画作成			
		・津波浸水区域・津波避難ビル等の周知	伊東市	・総合防災ガイドブック（ハザード マップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		・災害弱者対策	伊東市	・避難行動要支援者避難支援計画 （個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
	・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成	民間	・自主防災会ごとの津波避難行動計画 作成			・作成支援（伊東市）	
情報連絡 （発災後）	・情報伝達手段の整備	伊東市	・Jアラート(全国瞬時警報システム) の活用 ・沿岸部等の同報無線のデジタル化 ・同報無線とその他の情報伝達手段 （メールマガジン、ケーブルテレ ビ、FMラジオ、エリアメール） の自動連動化			・整備済み（伊東市）	
	・安否確認手段の整備	民間	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（伊東市）	